

市長定例記者会見報告事項概要(8月)

令和2年8月26日(水)午前11時～

1. 地域外来・検査センターの開設について

- PCR検査に必要な検体の採取を行う「地域外来・検査センター」を、9月1日(火)、休日診療所内に開設する。
- 感染の疑いのある方が、迅速かつスムーズにPCR検査を受けられるよう、県から委託を受け、防府医師会の協力を得て市が運営する。
- 当面は週1回(木曜日)、市内のかかりつけ医からPCR検査が必要とされた方を対象に、予約制で診察する。
- 状況により最大週5日(平日)対応できるよう準備を進めていく。

2. 陸上競技場リニューアルイベントについて

- キリンレモンスタジアム陸上競技場のリニューアルイベントとして、8月29日(土)に、市スポーツ協会の主催により、小学生を対象とした陸上教室を開催する。
- 講師には、市内在住で昨年全日本マスターズ優勝者、2003年静岡国体110mハードル第2位の杉本 渉さんと、中距離選手で山口県観光フレンズとしてもご活躍中の杉本 瑛美維さんご夫妻をお迎えする。
- マスクや検温など、新型コロナウイルス感染防止対策に万全を期して開催する。

3. 絵画「東台湾臨海道路」の出品について

- 新型コロナウイルス感染症の影響により開催が2度延期されていた、台湾での展覧会の開催がこのほど決定され、本市所有の絵画「東台湾臨海

道路」を出品することとなった。

- 展覧会は、10月17日から来年1月17日まで、台北市の国立台北教育大学北師美術館にて開催される。
- 絵画「東台湾臨海道路」は、上山満之進翁が台湾総督退任時に台湾の画家、陳澄波に依頼し、制作されたものであり、このたび台湾で展示されることになれば、初めて台湾に里帰りすることになる。

4. 明治安田生命保険相互会社との「健康増進に関する連携協定」締結式並びに「私の地元応援募金」寄付受納式及び感謝状贈呈式について

- 明治安田生命保険相互会社と「健康増進に関する連携協定」を締結することとなった。
- 8月28日（金）午前10時から、市役所において、締結式並びに「私の地元応援募金」の寄付受納式及び感謝状の贈呈式を行う。
- 協定の締結により、がん検診の受診率向上に向けた取組への協力のほか、新型コロナウイルス感染症対策にもご協力いただけることを期待している。

5. 防府どぶろく特区による初のどぶろく製造について

- 7月の定例記者会見において、市内の事業者の方が酒類製造免許を取得された旨ご報告した。
- このたび、初めてのどぶろく製造に着手され、9月初めに初のどぶろくが完成予定とのことで、製造報告のため9月3日（木）午後4時、市役所を訪問される。
- 「どぶろく特区」で実際にどぶろくの製造にまで至った例は全国的にも少なく、県内では初めてとなる。

- この取組により地産地消の一層の促進をはじめ、「防府のどぶろく」を広くPRすることを通じて、防府の農業振興の弾みとなることを期待している。

6. 防府市議会議員一般選挙について

- 11月26日の任期満了に伴い、防府市議会議員一般選挙を11月15日に執行する予定。

立候補予定者説明会について

- 立候補予定者説明会を9月24日（木）午後1時30分から、ルルサス防府2階多目的ホールで開催する。

期日前投票所の増設について

- 今回の選挙から、市役所本庁舎に加え、イオンタウン防府1階に期日前投票所を開設する。
- 期間は11月9日（月）から14日（土）までの6日間、時間は午前10時から午後8時までとする。

市議会議員選挙での新型コロナウイルス感染症対策について

- 市内各投票所における新型コロナ感染症対策として、出入口の手指消毒液の設置をはじめ、飛沫感染防止シートの設置、記載台の定期的な消毒、使い捨てのクリップペンシルの配置などを行う。
- 有権者の皆様には、マスクの着用など感染予防をした上で、積極的に投票所へ足を運ばれるようお願いしたい。

7. 令和2年度9月補正予算案の概要について

補正予算案編成の考え方

- 5月臨時議会、6月定例市議会に新型コロナウイルス感染症対策に係る

補正予算を計上し、感染拡大防止対策や市内経済の活性化対策など、市の単独事業として1, 800百万円強を実施してきた。

- 感染症の収束が見通せない中で、本市においては8月に4名の感染があり、影響の長期化が予想される。
- これまで実施してきた対策をみながら、防府市に何が求められるかを考え、今後の雇用情勢の悪化に備える雇用対策や、状況を踏まえた一定の経済対策、更なる感染症対策に取り組むための補正予算案を編成した。
- PCR 検査体制の強化については、専決処分で措置した。

補正予算案の規模等

- 専決処分で70百万円、補正予算案で326百万円を計上している。
- 今回の補正予算案により、国から配分された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1, 142百万円を全額充当することとなる。
- これまでの2度の補正予算と合わせ、14, 519百万円となるが、特別定額給付金事業を除くと2, 271百万円の事業費となり、その主な財源としては新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が1, 142百万円、一般財源として財政調整基金の取り崩しで925百万円を措置している。

補正予算案の概要

1 雇用対策

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響による雇用情勢の悪化に備えるため、必要な対策を講じる。

- 新型コロナウイルス離職者雇用事業者奨励金・・・60百万円
 - ・ 市の新型コロナウイルス対策本部設置日である令和2年1月28日

以降に、新型コロナウイルス感染症の影響から就労の場を失った方を、市内の事業所で新たに正規労働者として雇用する中小企業者等に対し、正規労働者1人当たり60万円、1事業所当たり3人までの奨励金を支給する。

- ・ 離職者の就労の場の確保と併せ、中小企業の人材確保に繋がると考えている。

○ 就学援助事業・・・4百万円

- ・ 新型コロナウイルス感染症により家計が急変し、経済的に就学が困難となる世帯も生じる恐れがあるため、「就学援助事業」に「新型コロナウイルス感染症枠」を設ける。

2 経済活性化対策

新型コロナウイルス感染症を市民の皆さまの力を合わせて乗り越えていくため、これまでも商工会議所と一体となってプレミアム付き商品券の発行や子育て世代へのお食事券、宿泊費の助成など、様々な対策を講じてきた。感染症の影響が長期化する中、妊産婦や高齢者の健康対策や、市内経済の活性化に繋がる対策を講じる。

○ 妊産婦健康サポート事業・・・60百万円

- ・ 妊産婦の方々の外出時の感染リスク軽減や、健康サポートに繋がるよう、米、野菜、果物、水産物などの、旬な地元食材を3回に分けて、合計3万円相当をお届けする。
- ・ 市内1次産業の活性化にも繋がりたいと考えている。
- ・ 対象は今年の4月1日以降に出産された方、及び来年3月31日までに妊娠届出書を提出される方としている。

○ 高齢者元気アップ事業・・・60百万円

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響から敬老会が中止されるなど、外出の機会が減少し、多くの負担や不安を抱えている高齢者の方々に、元気になっていただくため、また、感謝の意をお伝えするため、メッセージを添えた切り花や鉢もの等の花をお贈りする。
- ・ 対象は今年度中に75歳になる方を含む、75歳以上の方としている。
- 児童生徒入学お祝い事業・・・20百万円
 - ・ 小中学校入学前の第3子以降の児童生徒がいる世帯に、入学後に配付している商品券を、ニーズに対応し、入学前に前倒して「入学お祝い商品券」として配布する。
 - ・ 前倒しすることにより、地域経済の活性化にも繋がりたいと考えている。
- 地域産業促進事業補助金（増額）・・・50百万円（計250百万円）
 - ・ 6月補正予算で計上した地域産業促進事業補助金のうち一般枠について、想定以上の申請が見込まれていることから、より多くの市内事業者へ新規事業展開をしていただくため、一般枠の予算を増額する。

3 健康対策

- Web相談による妊産婦健康サポート事業・・・1百万円
 - ・ 妊産婦の方が気軽にWeb相談ができる体制を整備する。
- 高齢者元気アップ体操事業・・・3百万円
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、高齢者の方が気軽に運動できるよう、様々な内容の番組を作成・放送するとともに、介護施設などにそのDVDを配布する。

4 その他

- 感染防止対策の充実・・・20百万円

- ・ 防府市公会堂、アスピラート、キリンレモンスタジアム体育館へのサーモグラフィカメラを設置する。
 - ・ 持ち運びが可能なため、様々なイベント等で感染防止対策に活用したい。
 - ・ 市議選投開票所の感染防止対策を行う。
 - ・ 来年度予定していた土木部門の県総合庁舎への移転を前倒しし、空いたスペースをゆとりのある会議室として確保する。
- 新型コロナウイルス感染症関連対策予備費・・・48百万円
- ・ 5月補正予算で創設した「新型コロナウイルス感染症関連対応予備費」について、今後の感染症対策にしっかり対応できるよう、これまでの使用分を補てんし、1億円を確保する。

今後の対応

- 市の財政状況に目を配りながら、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すことを最優先し、今後もしっかり対応していく。